



2010年12月号

2010年12月8日 発行

人付き合いを潤滑にする言葉があります

おはよう こんにちは
ありがとうございます さようなら

相手の気持ちをほんのりあたたかくする、短いけれど優しい言葉があります。それが「あいさつ」です。

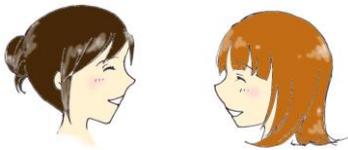
誰かに会ったとき、親切にしてもらったとき、ちょっと離れるとき、様々な場面であいさつはコミュニケーションを潤滑にしてくれます。

最近、誰かにあいさつをしましたか？

友人、先輩、先生…よく知っている人にあいさつをしている方は多いと思います。

じゃあ、地域の方は？

近隣に住む地域の人、同じアパートに住む人。わたしたちの周りには、多くの人があります。仲のいい人よりも、あまり親しくない人の方が多いかもしれません。



知らない人だから。

関係のない人だから。

何も言わずに

すれ違っていませんか？



誰かと会ったとき、
勇気を出して

あいさつを試みませんか？

あいさつは恥ずかしいことではありません。あいさつ運動が全国にあるように、とてもすてきなものです。

はじめは、相手の方も驚いているかもしれませんが、

でも、やめないで。

あいさつをされて嫌な人はいません。あなたの印象は、相手の中でぐんと変わります。

学生と協力して、

いい町内をつくって

いけたらいいな。

そう思っている地域の方もたくさんいます。

地域で暮らす一人の住民として、まずはおじぎや会釈から始めてみませんか。

そうして、いつか明るい声で町内がいっぱいになったら、それはとっても素敵だなあと思うのです。



シロネコ歩

ひらふわ ぽてぽて

雪降る街をシロネコ歩く

周りはきれいな金平糖だらけになって、
空からは七色に輝く贈り物が降ってくる

ひらふわ ぽてぽて

走る箱の前にかじりつく子どもに、
時計を気にしてそわそわする人、
あったかい顔をしている人



きらめく街と同じように、この頃みんな
楽しそう

終わりに待っている寂しさを、
感謝と笑顔で埋め尽くす

もうすぐ来る新しさを不安と期待で包
んで、最後を楽しく飾っていく

ひらふわ ぽてぽて ニャーゴニャゴ

この街の優しさで、冬があたたかくなっ
ていく

雪降る町を、今日もシロネコ歩いていく

今回は「ぶれジョブサポ
ーター」というボランテ
ィアを紹介します!!!

今月の
ボラ情報

◆ ぶれジョブスワン ジョブサポーター ◆

○支援を必要とする子どもの就労体験を行なっているぶれジョブ。週1回1時間、子どもたちは地域の企業や学校で仕事をしています。そんな頑張る子どもをサポートするのが、ぶれジョブサポーターです。

○サポーターの主な仕事は、子どもの作業の補助をしながら見守ることです。はじめは不慣れで子どもも戸惑っていますが、日を追うにつれて素晴らしい成長をみせてくれます。

○しかし、参加しようとしている子どもの数に比べてサポーターの数がいないのが現状です。「やりたいけど、サポーターがないから」そんな理由から参加を諦めている方もいます。

ぶれジョブについてもっと話を聞いてみたい方、参加してみたい方、参加しようか迷っている方…、ボランち。にご連絡ください。



新大祭アンケートご協力ありがとうございました

今年10月16、17日に行なわれた新大祭で、ボランち。のブースに来てくださった方に、アンケートにご協力いただきました。ありがとうございました!!!

皆様から頂いた貴重なご意見は、今後の活動に活かしていきたいと思っております。

編集後記

こんにちは。

早いもので2010年もあと少しですね。

PoNP12月号はいかがでしたか。

あいさつって、身近なことだけど

意外と難しいですね。

私ももっとあいさつしていこうと

思います!!!

ボランち。(もみじ)



連絡先: 新潟大学学生ボランティア本部

「ボランち。」

Tel・Fax: 025-262-7530

Mail: gakuerv@adm.niigata-u.ac.jp

HP: <http://www.nuvc.info/>